

科目名	保健・体育			担当教員	有馬弘智・本田正・齋藤茂樹		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	08G01_20120	単位区別	履修単位
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを実践できるようにする。また、スポーツテスト等で、個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。						
進め方	個人種目については、各種目の基本の理論を説明したうえで、基礎技術の実践を行い、修得できるようにする。団体種目については、個人の基礎技術を修得したうえで、各種目の運動理論を理解する。また、各種目のルール説明を行い、試合を行うことで、それらの種目の運営をできるようにする。						
履修要件							
	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
学習内容	1 年間授業の概要説明	(1)	年間計画を説明し、体育授業の目的・取り組む姿勢を	F2:1-4			
	2 集団行動	(1)	理解する。整列隊形や隊形変更など集団での行動を身	F1:1-4			
	3 スポーツテスト	(3)	につける。自分自身の運動能力を把握し、運動能力の				
	4 バレーボール	(12)	向上を目指す。				
	5 水泳	(6)					
	6 バスケットボール	(12)	個人種目では、各種目の基本の理論を理解し、反復練	F1:1-4			
	7 鉄棒	(8)	習を行うことでそれらの技術を修得できるようにする。	F3:1,2			
	8 サッカー	(12)					
	9 保健	(5)	団体種目では、基礎技術の修得を中心に行う。また、	F1:1-4			
	10 *保健は、体育の授業の中に組み込む		簡易ゲームを行い、それらの技術をゲームの中で実践	F2:1-4			
	11 内容もある。		的に使えるようにする。	F3:1-5			
	12						
	13		いろいろな社会の環境を理解する。	A1:2,4			
	14 (剣道)						
	15 年間授業の概要説明	(1)	年間計画を説明し、剣道の授業の目的や取り組む姿勢	F2:1,2			
	16 礼儀作法について	(1)	を理解する。				
	17 心構えについて	(1)					
	18 道具の使い方	(1)	礼儀作法や剣道における心構えを理解し、精神面をし	F2:1,2			
	19 基本動作の修得	(5)	っかりした上で、基本動作や対人的技能を修得する。	F3:1-3			
	20 対人的技能の修得	(12)					
	21 試合	(8)					
	22 実技試験	(1)					
	23						
	24						
	25 (柔道)						
	26 年間授業の概要説明	(1)	年間計画を説明し、柔道の授業の目的や取り組む姿勢	F2:1,2			
	27 歴史および礼儀作法について	(1)	を理解する。				
	28 心構えについて	(1)					
	29 受け身の修得	(6)	礼儀作法や柔道における心構えを理解し、精神面をし	F2:1,2			
	30 立ち技の修得	(8)	っかりした上で、基本の受け身や技を修得する。	F3:1-3			
	31 寝技の修得	(4)					
	32 試合	(8)					
	33 実技試験	(1)					
	34						
	35			*1年の体育は、週2時間は体育を行い、週1時間は格技として、剣道と柔道の選択授業を行う。			
評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。						
関連科目	特になし						
教材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版） 大修館書店						
備考	特になし						